

おうちで百人一首

ひやくにんいつしゆ

中・高学年向け

〽 百日後にマスターするわたし

ひやくにちご

五日目 〽

今日の一首

さかのうえの

これのり

坂上 是則

上の句

あさ 朝ぼらけ

ありあけ つき

有明の月と

み 見るまでに

下の句

よしの さと 吉野の里に

ふ 降れる白雪

しらゆき

歌の意味

寒い冬の朝、早く目が覚めたら家の外が明るいので、「月が出ているのかな」と思って見に行くと、私の住んでいるこの吉野の里に、まぶしく雪が降りしきっているのです。

まめちしき！

すっかり明るさが広がって

いる様子が「朝ぼらけ」。

夜と区別がつかない様子が

あかつき

「暁」、ほんの少し明るい

ようす あけぼの

様子を「曙」と表します。

六日目の歌は・・・

寂しさに 宿を立ち出でて ながむれば

いづこも同じ 秋の夕暮れ



かい 3回、こえ 声に出して
よ 読んでみよう！